

黒田 祐我（くろだ ゆうが）氏プロフィール

○研究テーマ

中世スペイン史、中世地中海史が専門。とりわけ、イスラーム史とヨーロッパ中世史との狭間に位置する「中世後期カスティーリャ王国・グラナダ王国国境地帯における戦争と平和」の分析が現在の課題となっている。今後は「中・近世西地中海域におけるダイナミズム」というよりマクロなテーマに取り組む予定であり、当該時期における西欧とイスラーム世界との接触の解明を通じ、新たなグローバル・ヒストリーの枠組み策定に貢献できればと考えている。

○略 歴

2005-06 年 サラマンカ大学大学院（スペイン）留学
2007-10 年 セビーリャ大学大学院（スペイン）留学
2010-12 年 早稲田大学文学学術院 文学部西洋史コース助手
2012 年-現在 日本学術振興会特別研究員 PD（上智大学）
2013 年 博士（文学、早稲田大学）取得

○主な業績

「11 世紀スペインにおけるパーリア制再考」『西洋史学』216、2005 年、24-44 頁
「アンダルス社会から封建社会へー農村社会構造研究とレコンキスタの新解釈ー」『史学雑誌』118-10、2009 年、62-86 頁
「両文明を越境する傭兵ー中世西地中海世界におけるキリスト教徒ー」『歴史学研究』881、2011 年、12-21、48 頁
「中世後期カスティーリャ王国における『戦争と平和』ー王国間休戦協定の分析からー」『スペイン史研究』25、2011 年、1-16 頁
「文明間の『辺境』における共生ー中世後期スペインにおけるキリスト教徒とムスリムー」森原隆編『ヨーロッパ・「共生」の政治文化史』成文堂、2013 年、298-314 頁